

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修期間	担当教師
専門分野Ⅱ 精神看護学	64 精神看護学概論	1単位	15時間	1年次 前期～後期	嶋田 佐和子

テキスト(発行所)	精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社
テキスト以外の教材、参考図書	公衆衛生がみえる MEDIC MEDIA 国民衛生の動向 厚生労働統計協会、ビデオ各種

学習のねらい	看護の対象である人間のこころとは何かを自分自身に問いかけつつ、「こころ」を知ることに関心をもって学習する。これにより、精神障がいの基本である人間関係の構築に必要な「自己理解」「他者理解」「共感」「傾聴」について学び、精神看護の目的、基本的知識、看護の役割について理解する。
学習目標	1. 精神看護の目的を理解する。 2. 精神看護の特徴を理解する。 1) こころを知る手がかりとは何か。 2) こころの働き、精神の機能、健康と障害 3) 対象理解と自己理解 4) より良い人間関係の構築 3. 精神障がいの基本について理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態・他
1回	精神看護の目的:こころとは	1. こころとは 2. 精神看護の基本的考え方	講義
2回	精神看護の特徴を理解する 「こころを知る手がかりとは」	1. 脳機能からみるこころの仕組み ・大脳皮質・感覚器・海馬・扁桃体・神経細胞 ・神経伝達物質	講義
3回	精神看護の特徴を理解する 「こころの働き、精神機能 健康と障害」	理論からみるこころの仕組み ・フロイトの自我と防衛機制 ・発達理論と人間	講義
4回	精神看護の特徴を理解する	理論からみるこころの仕組み ・愛着形成と共感 ・ピアジェの認知発達理論	講義
5回	精神看護の特徴を理解する 「自己理解と他者理解」	感情とこころ ・感情の役割 ・コミュニケーション技法の基本 ・メタ認知 ・アサーティブコミュニケーション	講義
6回	精神看護の特徴を理解する	危機とこころ ・危機理論 ・ストレス反応と看護 ・コーピング ・適応	講義
7回	精神看護の特徴を理解する 「精神疾患を抱える人々の生きづらさ」	1. 精神疾患を抱えている人の心を理解する 2. 精神疾患を抱えている人の生活を理解する 3. 精神疾患を抱える人々の看護援助について理解	講義
8回	精神看護の基本を理解	1. 精神看護の基本的考え方 リカバリー・ストレングスについて	講義

単位認定の方法	①授業参加度(感想カード)	:10点
	②終講テスト	:70点
	③レポート課題	:20点
	④出席時間の80%の出席かつ①+②+③の点数が60点以上で単位認定する。	

受講上のアドバイス	この科目は、看護の基本である人の心を理解することや看護とは何かを考えたり、看護実践に重要な人と人との関係性について学ぶ。テキストや文献を活用し、ワークにより、他者の考え方や感情、その意味や視点を共有しながら“こころ”についていろいろと考えてみたい。このプロセスの中で他者理解と同時に自分のこころの動きにも注目しよう。「自己理解」が深まることで看護には必須である「他者理解」を深めること、ひいては、看護の質の向上へとつながる学びとなります。自己洞察の力も培いましょう。 精神看護の重要概念である「共感」「傾聴」「ケアリング」についても学ぶ。また、精神を障害されている人々の“生きづらさ”も感じ、考え、精神看護・精神科看護とは何か、看護の役割とは何かを常に問いつつ、授業に臨んでほしい。 こころの学びは、精神障がいに限らず看護のすべての対象の理解や看護実践へとつながります。自分のこころにも問いかけながら、精神看護について興味を持ってもらえることを期待します。
-----------	--

担当教員の実務経験	病院で看護師としての実務経験あり
-----------	------------------